

2024年5月29日(水)

北海道エアポート株式会社

北海道エアポートと北海道内7空港所在自治体は「Fry to Fly Project」に参加します！

北海道エアポート株式会社(本社：北海道千歳市、以下当社)は、運営7空港の所在自治体(千歳市、苫小牧市、稚内市、釧路市、白糠町、函館市、旭川市、東神楽町、帯広市、大空町)とともに、国内資源循環による脱炭素社会実現に向けたプロジェクト「Fry to Fly Project」に参加します。なお、空港運営会社と複数自治体が連携した取組みは、本プロジェクトで初となります。

当社は、安全安心かつ環境にも優しい空港を目指し、ゼロカーボン社会の実現に向け、地域の皆さまと一緒に取り組んでまいります。



<Fry to Fly Projectシンボルマーク>

※ 「Fry to Fly Project」や「SAF(持続可能な航空燃料)」の概要については、次頁以降をご参照ください。

※ 「Fry to Fly Project」の活動や最新のお知らせについては、特設ホームページよりご確認ください。

特設ホームページ：<https://www.jgc.com/jp/esg-hsse/initiative/fry-to-fly/>

<本件に関するお問い合わせ>

北海道エアポート(株) 総務・人事部 広報課 0123-46-2990 (代表)

○ 「SAF(持続可能な航空燃料)」とは

バイオマスや廃食用油等を原料とし、従来の航空燃料に比べて温室効果ガスの排出量の大幅な削減が期待できるとともに、既存のインフラをそのまま活用できる航空燃料です。

○ 「Fry to Fly Project」とは

日揮ホールディングスが提唱し、事務局を務める「Fry to Fly Project」では、設立主旨に賛同した参加企業・自治体・団体が相互に連携しつつ、家庭や店舗等から排出される廃食用油の収集を促進し、さらに自治体との連携により廃食用油の SAF への活用に関する教育活動を実施するなど、日本国内において脱炭素化に向けた資源循環の促進に積極的に参加できる機会の創出を目指しています。ご家庭や店舗などで発生する廃食用油という国内資源を原料とするSAFで、航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクトです。

○ 国産SAFについて

世界的には欧米を中心にSAFの製造が始まっていますが、日本国内において現在商業規模でのSAF製造は始まっていません。日揮ホールディングス、コスモ石油、レポインターナショナルの3社は、2022年11月に国産SAFの製造事業会社SAFFAIRE SKY ENERGYを設立し、国内で発生する廃食用油のみを原料とした日本初となる年産約3万キロリットルの国産SAF製造を計画しています。当該事業は国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)より採択※を受けた助成事業です。現在、SAF製造装置の建設が進んでおり、2024年内に完工、2025年初頭に供給開始を見込んでいます。

※ https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html



建設中のSAF製造装置
(合同会社SAFFAIRE SKY ENERGY提供写真)

○ 北海道エアポートと7空港所在10市町が連携して取り組む背景

SAFを取り巻く現状

- 日本政府は、2030年時点で国内エアラインの燃料使用量の10%をSAFに置き換える目標を設定
- 一方、日本の廃食用油の年間10万トン以上は輸出され、海外で製造されたSAFを輸入している
- 世界的にSAFの需要が高まっていくなか、安定的な供給ができるよう国産化を進め、SAFの自給率を高めていく必要がある
- 気候変動への対応は航空業界全体での取り組みが求められている
- SAFの導入は航空機の運航にかかるCO2排出量削減に大きな効果が期待される

安全安心かつ環境にも優しい空港を目指し、ゼロカーボン社会の実現に向けて…
北海道エアポートと7空港所在自治体で「Fry to Fly Project」への参加

目的

- ・北海道民へのSAFに対する理解醸成、国産SAF生産の応援体制の構築
- ・自治体との連携による廃食用油のSAFへの活用に関する教育活動の実施
- ・脱炭素化に向けた資源循環の促進に積極的に参加できる機会の創出
- ・家庭や店舗等から排出される廃食用油の収集促進

※空港運営会社と複数自治体が連携した取り組みは、本プロジェクト初。

Fry to Fly Project参加に向けたこれまでの取り組み

- ・2023年10月、北海道エアポートと7空港所在自治体で組織する「北海道誘客促進実行委員会」が横浜みなとみらいで開催した「第2回これがわたしのHOKKAIDO LOVE!祭」において、Fry to Fly ProjectのPR活動を実施。
※協力：日揮ホールディングス
- ・2024年3月24日(日)、千歳市内で開催された「SFA・CHITOSE航空教室」に北海道エアポートが日本航空株式会社と連携してブースを出展。SAFの周知と家庭から出た廃食用油の回収を実施。
※協力：千歳市、日本航空、日揮ホールディングス、レポインターナショナル

○ 今後の連携・取組

北海道エアポートと7空港所在10市町は「Fry to Fly Project」に参加し、連携してさまざまな取り組みを進めてまいります。

HAP 廃食用油回収協力依頼	空港内テナントへの回収協力依頼
HAP 自治体 啓蒙活動	空港内外イベントでの家庭から出た廃食用油の回収 SAFの周知活動
自治体 SDGs協力	SAFの製造・活用に関するSDGs教育活動(出前講座等)

○ 本取り組みにおけるSDGs該当項目

